

# 日本語 HP FMS for OpenVMS

---

## インストール・ガイド

2006 年 3 月

日本語 HP FMS (Forms Management System) は、ユーザ・インタフェースとして画面フォームを使用する会話型アプリケーションのための画面フォーム管理システムです。HP FMS は、アプリケーション・プログラマに開発ツールとランタイム・システムを提供します。これらのツールを使用してユーザ・インタフェースのためのフォームを作成したり、保守したりすることができます。また、ランタイム・システムを使用して、実行時にアプリケーションのインタフェースを表示したり、管理したりすることができます。

ソフトウェア・バージョン:           日本語 HP FMS バージョン 2.5  
オペレーティング・システム:       日本語 OpenVMS I64 バージョン 8.2 以降

日本ヒューレット・パッカート株式会社

---

© 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており，本書中の解説および図，表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに，その全体または一部を，いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また，本書に記載されている事項は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，日本ヒューレット・パカードは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は，所定のライセンス契約が締結された場合に限り，その使用あるいは複製が許可されます。

日本ヒューレット・パカードは，弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合，その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

本書は，日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

---

# 目次

まえがき	vii
<b>1 インストールの準備</b>	
1.1 必要なオペレーティング・システム・コンポーネント	1-1
1.2 必要なソフトウェア	1-2
1.3 必要なハードウェア	1-2
1.4 VMS ライセンス管理機能 (LMF)	1-2
1.5 インストールに必要な条件	1-3
1.5.1 制限	1-3
1.5.2 インストールに必要な時間	1-3
1.5.3 特権	1-4
1.5.4 必要なディスク領域	1-4
1.5.5 必要なシステム・パラメータ	1-5
1.5.5.1 システム・パラメータ値のチェック	1-5
1.5.5.2 GBLPAGES と GBLSECTIONS の値の計算	1-6
1.5.5.3 AUTOGEN を使用したシステム・パラメータ値の変更	1-7
1.5.6 アカウントのクォータの変更	1-8
1.5.7 VMSINSTAL の条件	1-9
1.5.8 システム・ディスクのバックアップ	1-10
<b>2 日本語 HP FMS のインストール</b>	
2.1 概要	2-1
2.1.1 オンライン・リリース・ノートのアクセス方法	2-1
2.1.2 システムに追加されたファイルおよび論理名の確認	2-2
2.1.3 インストール検証プロシージャの実行	2-2
2.1.4 インストールの強制終了	2-2
2.2 インストールの手順	2-3
2.2.1 VMSINSTAL の起動	2-3
2.2.2 インストールに関する問い合わせ	2-4

2.2.3	情報メッセージ .....	2-9
2.2.4	インストレーション検証プロセスの実行.....	2-10
2.2.5	インストレーションの終了 .....	2-10
2.3	エラーの回復.....	2-11
2.4	問題点の通知.....	2-12
<b>3</b>	<b>インストール後の作業</b>	
3.1	システム・ファイルの編集.....	3-1
3.2	ユーザ・アカウントの条件.....	3-2
3.3	IVPの実行 .....	3-3
3.4	特別な条件 .....	3-4
3.5	日本語 HP FMS の性能のチューニング.....	3-4
<b>4</b>	<b>フォーム・エディタおよびフォーム・テストの確認</b>	
<b>A</b>	<b>インストレーション実行例</b>	
A.1	フル開発キット .....	A-1
A.2	ランタイム・キット.....	A-3
<b>B</b>	<b>アプリケーション・プログラム例の使用方法</b>	
B.1	アプリケーション・プログラム例に関連するファイル.....	B-2
B.2	進データ同期端末上でのアプリケーション例の実行 .....	B-4
B.3	ワークステーション上でのアプリケーション例の実行.....	B-5
<b>C</b>	<b>システムにインストールされるファイルの一覧</b>	

## 表

1-1	必要なディスク領域 .....	1-4
1-2	必要なシステム・パラメータ値 .....	1-5
1-3	インストレーションのアカウントに必要なプロセス・クォータ .....	1-8
3-1	日本語 HP FMS の使用に必要なユーザ・アカウントのクォータ .....	3-2
B-1	FMS アプリケーション・プログラム例 .....	B-1
B-2	FMS 定義ファイル .....	B-3
B-3	FMS ソース・ファイル .....	B-3
B-4	FMS コマンド・ファイル .....	B-4



---

# まえがき

## 本書の目的

本書では、日本語 HP Form Management System(日本語 FMS) バージョン 2.5 をインストールする方法およびインストレーションを確認する方法について説明します。

## 対象読者

本書は、日本語 HP FMS ソフトウェアをインストールし、保守する人を対象としています。日本語 HP FMS をインストールする前に、必ず本書をお読みください。

日本語 HP FMS をインストールするためには、特権付きアカウントでログインできなければなりません。インストレーション後にインストレーション検証プロセスを実行するためには、VT100/VT200 シリーズの端末、もしくは VT100 と互換性のある端末を使用しなければなりません。

## 本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

- 第 1 章 日本語 HP FMS をインストールするために必要な準備および条件について説明します。
- 第 2 章 日本語 HP FMS をインストールする手順について説明します。
- 第 3 章 日本語 HP FMS のインストレーション後に行う作業について説明します。
- 第 4 章 日本語 HP FMS のインストレーション後の IVP について説明します。

- 付録 A 標準的なインストールの実行例を示します。
- 付録 B 日本語 HP FMS で使用可能なオプションのアプリケーション・プログラム例について説明します。
- 付録 C インストールもしくは変更されたファイルの詳細について説明します。

## 関連資料

日本語 FMS をインストールするための補足として、VMSINSTAL プロシージャや OpenVMS のシステム管理およびオペレーションについては、OpenVMS のドキュメントを参照してください。

日本語 HP FMS の詳細は、次のドキュメントを参照してください。

- 『HP FMS for OpenVMS Systems Mini-Reference』 FMS ユーティリティ、コマンドと修飾子、属性、キーの機能 などに関するクイック・リファレンスです。
- 『HP FMS for OpenVMS Systems Language Interface Manual』 FMS (Forms Management System) アプリケーション・プログラムに対する言語インタフェースについて説明します。対象となる言語は、BASIC、BLISS-32、C、COBOL、FORTRAN、PASCAL、PL/I です。このドキュメントで説明しない言語でプログラムを作成する際にも必要で、言語に依存しない情報についても説明します。
- 『HP FMS for OpenVMS Systems Introduction』 FMS (Forms Management System) について紹介します。サンプル・アプリケーション・プログラムの例を用いて、フォームを作成したり、管理する方法について説明します。
- 『HP FMS for OpenVMS Systems Utilities Reference Manual』 FMS (Forms Management System) ユーティリティについて説明します。これらのユーティリティは、DCL コマンドで起動し、フォームとフォーム・ライブラリを作成したり、管理することができます。
- 『HP FMS for OpenVMS Systems Form Driver Reference Manual』 FMS (Forms Management System) のフォーム・ドライバ構成要素が、OpenVMS オペレーティング・システム上でどのように動くかについて説明します。また、フォームを設計したり、データの入出力に FMS フォームを使うプログラムを開発するために必要な情報も提供します。

## 本書で使用する表記法

本書では、下記の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/X	Ctrl/Yの記号は、CTRL キーを押しながら、同時に X 文字キーを押すことを示します。
KPn	KP で始まるキー名は、端末の右側にある数字キーパッドのキーを示します。例えば、KP4 や KP. はキーパッド上のキーです。
PF1 X	PF1 Xの記号は、PF1 を押して、離してから、次に別のキーを押して離すことを示します。
...	例中の水平の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 文中で省略可能な追加の引数が省略されていること。</li><li>• 前の項目を何度か繰り返すことができること。</li><li>• 追加パラメータ、値、または他の情報を入力できること。</li></ul>
.	垂直の反復記号は、コード例やコマンド形式で項目が省略されていることを示す。
( )	形式の説明で、括弧は、複数のオプションを選択するとき、選択したオプション全体を括弧まなければならないことを示します。
[ ]	形式の説明で、大括弧で囲まれた項目は、省略可能な項目を示します。何も選択しないか、1つの項目を選択するか、またはすべての項目を選択します(ただし、ファイル指定におけるディレクトリ名、および代入文における部分文字列指定では、大括弧を省略することはできません)。
{ }	形式の説明で、中括弧は、中括弧で囲まれた項目から必ず1つの項目を選択しなければならないことを示します。
太字	オンライン版ドキュメントでは、ユーザ入力を示す場合があります。
\$	ドル記号 (\$) は、VMS システムで DCL を入力できることを示すプロンプトです。ただし、システムによって異なる場合があります。
英大文字	テキスト、例、構文の説明、関数の説明での英大文字は、入力しなければならない文字列を示します。
英小文字	コマンドや例の中の英小文字は、ユーザが置き換えなければならない単語や値を示します。)

---

表記法	意味
-	ハイフン (-) は, input-file のように 1 つの項目として扱う複数の後を連結します。

---

---

## インストールの準備

この章では、日本語 HP FMS をインストールするために必要な準備および条件について説明します。

なお、本書の内容は日本語 HP FMS バージョン 2.5 および次回のメジャーなプロダクト・リリースまでの今後のすべての保守リリースに適用されます。

必要な媒体の数および内容については、BOM (Bill of Materials) および BIL (Indented Bills Report) に示されています。ここに記された情報と照合して、必ずキットの内容を確認してください。万一、キットが破損していたり、必要な媒体がすべてそろっていない場合には、最寄りの日本 HP の各支店 / 営業所にお問い合わせください。

日本語 HP FMS は、オンラインのリリース・ノートを提供します。リリース・ノートは、初めてインストールをする前に読んだり、印刷したりすることができます。インストールを開始する前に、リリース・ノートを読むことを強くおすすめします。

---

### 1.1 必要なオペレーティング・システム・コンポーネント

日本語 HP FMS をインストールするには、OpenVMS バージョン 8.2 以降の次のクラスが必要です。

- VMS Required Saveset
- Programming Support
- Utilities

---

## 1.2 必要なソフトウェア

本節では、日本語 HP FMS をインストールする前に、各々のシステムにあらかじめインストールされていなければならないソフトウェアについて説明します。また、日本語 HP FMS で使用可能なソフトウェア情報についても説明します。互換性のある製品およびそれらが適用できるバージョン番号など詳細な情報についてはソフトウェア仕様書 (SPD) を参照してください。

日本語 HP FMS バージョン 2.5 は日本語 OpenVMS I64 のバージョン 8.2 以降を必要とします。

---

## 1.3 必要なハードウェア

インストール後のインストール検証プロシージャ (IVP) を実行するためには、ビデオ端末が必要となります。インストール後の IVP の詳細については、第 4 章を参照してください。

---

## 1.4 VMS ライセンス管理機能 (LMF)

日本語 HP FMS をインストールするには、ソフトウェア・ライセンスを登録しなければなりません。

ライセンスの登録に必要な情報は、日本語 HP FMS といっしょに出荷されるプロダクト・オーソライゼーション・キー (PAK) に含まれています。PAK はライセンス情報が書かれた用紙です。

インストール中に、日本語 HP FMS のライセンスを登録し、適当なキーをロードしたかどうか聞いてきます。IVP を実行したりソフトウェアを使用するためには、インストールを開始する前に、ライセンスを登録しキーをロードしておかなければなりません。

日本語 VMS でライセンスを登録するには、最初にシステム・マネージャのアカウント SYSTEM でログインします。登録するには、次の 2 つの方法があります。

- SYSS\$UPDATE:VMSLICENSE.COM プロシージャを起動する。プロンプトに応じ、PAK のデータを入力する。
- DCL の LICENSE REGISTER コマンドを使い、PAK の情報に応じた修飾子の値を指定する。

LMF についての詳細は、VMS ドキュメント・セットの『License Management Utility Manual』を参照してください。

---

## 1.5 インストールに必要な条件

以下に日本語 HP FMS をインストールするために必要な条件について説明します。

### 1.5.1 制限

日本語 HP FMS をインストールしている間は、ユーザをシステムにログインさせてはいけません。ユーザにメッセージを送るには、次の例のように REPLY コマンドを使用します。

```
$ REPLY/ALL "Please log off now. Installing FMS."
```

システムを使用しているユーザがいる場合、VMSINSTAL はインストールを継続するかどうかのメッセージを表示して、インストールを中止するかどうか確認してきます。インストールを中止する場合は、RETURN キーを押してください。

### 1.5.2 インストールに必要な時間

インストールは、媒体の種類およびシステムの構成に応じて、5分から10分かかります。

インストールの準備  
1.5 インストールに必要な条件

### 1.5.3 特権

日本語 HP FMS をインストールするためには、SETPRV 特権もしくは少なくとも次の特権をもつアカウントでログインしなくてはなりません。

- CMKRNL
- WORLD
- SYSPRV

なお、VMSINSTAL はインストール開始時に BYPASS 特権をはずしますので注意してください。

### 1.5.4 必要なディスク領域

日本語 HP FMS のインストールには、次に示すディスク領域を必要とします。日本語 HP FMS をインストールした後は、必要なディスク領域が多少減ります。表 1-1 に、日本語 HP FMS のインストールに必要なディスク領域を示します。

表 1-1 必要なディスク領域

キット名	インストール時 (ブロック)	インストール後 (ブロック)
日本語 HP FMS バージョン 2.5	13,000	6,500
日本語 HP FMSFDV バージョン 2.5	2,200	1,100

現在のシステム・ディスクの空きディスク領域を正確に調べるには、次のコマンドを入力します。

```
$ SHOW DEVICE SYS$SYSDEVICE
```

### 1.5.5 必要なシステム・パラメータ

本項では、システム・パラメータ値のチェック方法、システム・パラメータ GBLPAGES と GBLSECTIONS の値の計算方法、VMS AUTOGEN コマンド・プロシージャを使用してパラメータ値を変更する方法について説明します。

日本語 HP FMS をインストールするためにはいくつかのシステム・パラメータの設定を変更する必要があります。表 1-2 にインストールのために最低限必要なシステム・パラメータ値を示します。現在使用しているプログラムおよびアプリケーションによっては、いくつかの設定値を大きくする必要があります。

表 1-2 必要なシステム・パラメータ値

システム・パラメータ	値
GBLPAGES <sup>1</sup>	n+650
GBLSECTIONS <sup>1</sup>	n+5

<sup>1</sup>変数 n は現在使用中のシステム・パラメータの値です。日本語 HP FMS をインストールするためには、ここに示した値を加算しなくてはなりません (第 1.5.5.2 項参照)。

#### 1.5.5.1 システム・パラメータ値のチェック

システム・パラメータ値は、次の手順で調べます。

1. 次のコマンドを入力して SYSGEN ユーティリティを起動します。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:SYSGEN  
SYSGEN>
```

2. システム・パラメータ値を表示するためには、SYSGEN>プロンプトに対して SHOW コマンドを入力します。表示される値が、表 1-2 に示したそれぞれのパラメータの値に等しいかもしくは大きくなってはなりません。GBLPAGES システム・パラメータ値を表示するには、次のコマンドを入力します。

```
SYSGEN> SHOW GBLPAGES
```

SHOW コマンドでパラメータ値を調べ終わった後、DCL レベルにもどるには SYSGEN>プロンプトに対して EXIT コマンドを入力します。

インストールの準備  
1.5 インストールに必要な条件

1.5.5.2 GBLPAGES と GBLSECTIONS の値の計算

日本語 HP FMS をインストールし実行するためには、GBLPAGES および GBLSECTIONS のシステム・パラメータに正確な値を設定しなければなりません。

表 1-2 中の n は、システムで使用可能なグローバル・ページおよびグローバル・セクションの現在の数を表します。インストールを正常に実行するためには、表中に示した値を加算しなければなりません。システムの未使用のグローバル・ページおよびグローバル・セクションの数の計算は次の手順で行います。

1. 次の DCL コマンドを使用して VMS Inatall ユーティリティ (INSTALL) を実行します。

```
$ INSTALL LIST /GLOBAL /SUMMARY
```

次の例のように現在未使用のグローバル・ページの数と、システムが使用中のグローバル・ページおよびグローバル・セクションの要約が表示されます。

```
Summary of Local Memory Global Sections
```

```
258 Global Sections Used, 22580/3420 Global Pages Used/Unused
```

2. 未使用のグローバル・ページの数 (例中の 3420) が 250 以上であることを確かめます。未使用のページ数が 250 未満であるときは GBLPAGES の値を増やす必要があります。
3. 使用中のグローバル・セクションの数 (上の例中の 258) に注意します。
4. SYSGEN ユーティリティを実行し、SHOW コマンドで占有されているグローバル・セクションの数を確かめます。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:SYSGEN  
SYSGEN> SHOW GBLSECTIONS
```

Parameter Name	Current	Default	Minimum	Maximum	Unit	Dynamic
GBLSECTIONS	512	250	20	4095	Sections	

5. 占有されている数から要約で示された数 (例中の 258) を差し引きます。差が 4 未満であるときは、GBLSECTIONS パラメータの値を増やす必要があります。

第 1.5.5.3 項では、これらの値を他のシステム・パラメータの値と同様に増やす手順について記述します。詳細については、システム管理およびオペレーションに関する VMS ドキュメントを参照してください。

### 1.5.5.3 AUTOGEN を使用したシステム・パラメータ値の変更

システム・パラメータを変更するには、AUTOGEN コマンド・プロシージャを使用します。AUTOGEN は、個別に再設定したパラメータに関連するパラメータの値を自動的に調整します。

次の手順で AUTOGEN でシステム・パラメータを変更します。

1. 次のファイルを編集します。

```
SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT
```

このファイルを編集するにはエディタを使用してください。

SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT ファイル中にすでに存在するパラメータ値を変更する場合は、そのパラメータに対応する現在値を削除し、新しい値を入力します。

新しい値を追加する場合は、MODPARAMS.DAT ファイルに行を追加します。追加する行には、次の例のようにパラメータの名前とその値を記述します。

```
GBLSECTIONS = 128
```

MODPARAMS.DAT ファイル中の増分値パラメータを変更することもできます。次の例では、グローバル・ページ設定を 2000 ページ分増加します。

```
ADD_GBLPAGES = 2000
```

2. すべての変更が終了した後、システム・パラメータを再計算するために AUTOGEN プロシージャを実行します。DCL プロンプトで次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT
```

AUTOGEN はシステム・パラメータの再計算が終了した後に、システムを自動的にシャット・ダウンし、リポートします。システムをリポートすることで新しいパラメータ値が有効となります。

## インストールの準備

### 1.5 インストールに必要な条件

バージョン 5.0 以降の VMS でシステムをリブートすると、AUTOGEN ユーティリティは、最後のリブート以来の資源の消費量に基づいて SYSGEN パラメータのうちのいくつかを自動的に調整します。この自動調整を行いたくなければ、AUTOGEN コマンド行に /NOFEEDBACK 修飾子を追加してください。

AUTOGEN の使用方法の詳細については、システム管理とオペレーションに関する VMS ドキュメント中のシステム・パラメータを変更する命令を参照してください。

#### 1.5.6 アカウントのクォータの変更

日本語 HP FMS をインストールするために使用するアカウントには、インストールの実行を可能にするための十分なクォータが必要です。表 1-3 にインストールするのに使用するアカウントに必要なプロセス・クォータを示します。

表 1-3 インストールのアカウントに必要なプロセス・クォータ

クォータ名	値
ASTLM	24
BIOLM	18
BYTLM	18,000
DIOLM	18
ENQLM	30
FILLM	20

ユーザ・アカウントのクォータは、ファイル SYSUAF.DAT に保存されています。ユーザ・アカウントのクォータの確認および変更は、VMS AUTHORIZE ユーティリティによって行います。

次の手順で、アカウントのクォータを調べ、変更します。

1. ディレクトリを SYS\$SYSTEM に設定してから AUTHORIZE を実行します。

```
$ SET DEFAULT SYS$SYSTEM
$ RUN AUTHORIZE
UAF>
```

2. AUTHORIZE ユーティリティのプロンプト (UAF>) に対して SHOW コマンドにアカウント名を指定して、特定のアカウントを調べます。

```
UAF> SHOW SMITH
```

3. クォータを変更するには、UAF>プロンプトに対して MODIFY コマンドを使用します。MODIFY は次の形式で指定します。

```
MODIFY アカウント名 / クォータ名 =nnnn
```

次の例では、SMITH アカウントの FILLM クォータを変更し、AUTHORIZE ユーティリティを終了します。

```
UAF> MODIFY SMITH /FILLM=50  
UAF> EXIT
```

ユーティリティを終了した後、変更が行われたかどうかを示すメッセージが表示されます。変更を行ったならば、新しいクォータを利用するために一度ログアウトしてから、再びログインしなくてはなりません。

アカウントのクォータの変更方法についての詳細は、VMS ドキュメント・セット中の AUTHORIZE ユーティリティの項を参照してください。

### 1.5.7 VMSINSTAL の条件

VMSINSTAL を起動する際は次のことを確認してください。

- 省略時のデバイスおよびディレクトリを SYSSUPDATE に設定しているか。
- 特権付きアカウントでログインしているか。
- インストレーションに十分なクォータをもっているか。
- DECnet が立ち上がっているか。
- システムにログインしているユーザがいるか。

## インストレーションの準備

### 1.5 インストレーションに必要な条件

VMSINSTAL を実行するには、インストレーションのアカウントに最低限次のクォータが必要です。

```
ASTLM = 24
BIOLM = 18
BYTLM = 18,000
DIOLM = 18
ENQLM = 30
FILLM = 20
```

VMSINSTAL はインストレーション中に問題を見つけると、その問題を通知してインストレーションを継続するかどうかを問い合わせてきます。YES を入力するとインストレーションが継続され、NO または RETURN キーを入力するとインストレーションが打ち切られます。インストレーションを打ち切った場合は問題箇所を修正して、インストレーションを再実行してください。

#### 1.5.8 システム・ディスクのバックアップ

インストレーション開始時に、システム・ディスクのバック・アップをとっているかどうか問い合わせてきます。オペレーティング・システムにソフトウェアをインストールする前に、システム・ディスクのバックアップをとることをおすすめします。

すでに確立されているバックアップ手順を利用してください。システム・ディスクのバックアップ方法についての詳細は、VMS ドキュメント・セットの BACKUP ユーティリティの項を参照してください。

---

## 日本語 HP FMS のインストール

本章では、日本語 HP FMS をインストールする方法について説明します。第 2.2 節では、インストールの手順をステップごとに説明します。

---

### 2.1 概要

本節では、リリース・ノートへのアクセス方法、システムに追加されたファイルおよび論理名の確認方法、IVP の実行方法およびインストールの強制終了方法について説明します。

#### 2.1.1 オンライン・リリース・ノートのアクセス方法

日本語 HP FMS では、オンライン・リリース・ノートを提供します。リリース・ノートには、インストール・プロセスの変更に関する情報が含まれている場合もありますので、まずリリース・ノートを読んでください。

VMSINSTAL を起動するときに OPTIONS N を指定すると、オンライン・リリース・ノートを表示、または印刷するかどうかを聞いてきます。インストール開始後まもなくこの問い合わせがあります。

日本語 HP FMS のインストール後、リリース・ノートは次のところに置かれます。

```
SYS$HELP:HPFMSJA025.RELEASE_NOTES
```

オンライン・ヘルプでもリリース・ノートを見ることができます。インストール後に HELP 機能でリリース・ノートを見るには次のコマンドを入力します。

```
$ HELP JFMS RELEASE_NOTES
```

### 2.1.2 システムに追加されたファイルおよび論理名の確認

日本語 HP FMS のインストールでシステムに追加、交換もしくは変更されたファイルの一覧は、付録 C にあります。

日本語 HP FMS をインストールすると、システムに 1 つの論理名 (JFMS\$EXAMPLES) が追加されます。JFMS\$EXAMPLES に関連したファイルの一覧は、付録 C とオンライン・リリース・ノートの付録 B にあります。

### 2.1.3 インストール検証プロセスの実行

IVP で日本語 HP FMS のインストールの確認を行います。インストール中に、インストールの一部として IVP を実行するかどうか問い合わせてきます。YES と答えれば、VMSINSTAL は IVP を実行します。日本語 HP FMS が正しくインストールされたかどうかを確認するために IVP を実行することをおすすめします。

日本語 HP FMS をインストールした後、そのソフトウェアをシステムで利用できるかどうかを確認するために IVP を単独で実行することができます。また、システムに障害があった場合に、ユーザが日本語 HP FMS をアクセスできるかどうかを確認するといった目的で、IVP を実行することもできます。

会話型であるという性質上、フォーム・エディタおよびフォーム・テストは VT100 もしくは VT200 と互換性のある端末上で手作業でテストされなければなりません。フォーム・エディタおよびフォーム・テストのインストールの確認方法は、第 4 章を参照してください。

### 2.1.4 インストールの強制終了

インストールを途中で強制終了する場合には、CTRL/Y を押します。CTRL/Y を押すと、その時点までに作成したすべてのファイルを削除し、インストールを終了します。その後インストールを再実行することができます。

---

## 2.2 インストールの手順

日本語 HP FMS のインストールの手順は、一連の問い合わせと情報メッセージから構成されます。以下に VMSINSTAL の起動方法および VMSINSTAL からの問い合わせに対する応答方法を説明します。

### 2.2.1 VMSINSTAL の起動

インストールを開始するには、SYSTEM アカウントのような特権付きアカウントで VMSINSTAL コマンド・プロシージャを起動します。VMSINSTAL は SYS\$UPDATE ディレクトリの中にあります。VMSINSTAL は次の構文で起動します。

```
@SYS$UPDATE:VMSINSTAL プロダクト名 装置名 OPTIONS N
```

プロダクト名

製品のインストール名です。日本語 HP FMS では次のインストール名を使用してください。

```
FMSJA025
```

装置名

媒体をマウントする装置名です。たとえば、DKC100: は CD-ROM ドライブの装置名です。

OPTIONS N

リリース・ノートに関する問い合わせを表示するようにするためのオプション・パラメータです。OPTIONS N パラメータを指定しなければリリース・ノートに関する問い合わせは表示されません。

VMSINSTAL を起動するときに選択できるオプションは、この他にもいくつかあります。これらのオプションについては、VMS ドキュメントのソフトウェアのインストールを参照してください。

## 日本語 HP FMS のインストール 2.2 インストールの手順

次の例に、CD-ROM ドライブ DKC100: から日本語 HP FMS をインストールするように VMSINSTAL を起動するコマンドとそれに対するシステムの応答を示します。この例では OPTIONS N というリリース・ノートに関するパラメータを使用しています。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL FMSJA025 DKC100: OPTIONS N
      OpenVMS ALPHA Software Product Installation Procedure V1.5
It is 18-JUN-1993 at 13:23.
```

プロダクト名もしくは装置名のどちらかを入力していなければ、インストール中に問い合わせがあります。

### 2.2.2 インストールに関する問い合わせ

本節では、インストール中の問い合わせについて説明します。問い合わせに対する応答例は、付録 A にあるインストールの実行例を参照してください。

インストール中の問い合わせには、行頭にアスタリスク (\*) がついています。また、問い合わせに対して省略時の応答が用意されている場合は、たとえば [YES] のように、括弧内に表示されます。省略時の応答を使用する場合は RETURN キーを押します。

#### 1. DECnet の状況確認

```
%VMSINSTAL-W-DECNET, Your DECnet network is up and running.
.
.
.
* Do you want to continue anyway [NO]?
```

日本語 HP FMS は、スタンドアロンのシステムあるいは DECnet をシャットダウンしたクラスタにインストールしなければなりません。DECnet が動作しているかどうか通知され、活動中のすべてのプロセスの一覧が表示されます。そしてインストールを継続するかどうか問い合わせてきます。この問い合わせに対する省略時の応答は NO です。

## 2. システムのバックアップ

\* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?

システムのバックアップをとっているかどうか問い合わせてきます。インストールを行う前に、常にシステム・ディスクのバックアップをとってください。システム・ディスクのバックアップをとっているならば、RETURN キーを押してください。もしそうでなければ、NO と入力してインストールを中止してください。システム・ディスクのバック・アップをとった後、インストールを再実行することができます。

## 3. 媒体のマウント

Please mount the first volume of the set on DKC100:.

\* Are you ready? YES

%MOUNT-I-MOUNTED, FMSJA MOUNTED ON \_\$\$DKC100:

The following products will be processed:

FMSJA V2.5

Beginning installation of FMSJA V2.5 at 13:23

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product saveset A...

ここで VMSINSTAL を起動したときに指定したデバイスに最初の提供ボリュームをマウントします。その場合、装置名が表示されインストールを継続する準備ができたかどうかを確認する Are you ready? という問い合わせがあります。

準備ができている場合は YES と入力します。すると日本語 HP FMS の入った媒体が指定された装置にマウントされ、インストールが始まったことを示すメッセージが表示されます。

VMSINSTAL の起動時に間違った装置名を入力してしまい、インストールを起動し直さなければならない場合は、Are you ready? の問い合わせに対して NO を入力します。その他の理由でインストールを途中で強制終了する場合は、CTRL/Y を押してください。

## 4. リリース・ノート

## 日本語 HP FMS のインストール 2.2 インストールの手順

Release Notes Options:

1. Display release notes
2. Print release notes
3. Both 1 and 2
4. Copy release notes to SYS\$HELP
5. Do not display, print or copy release notes

\* Select option [2]:

VMSINSTAL の起動時に OPTIONS N を指定すると、リリース・ノートに関する 5 つの選択ができます。

オプション 1 を選ぶと、リリース・ノートを端末で参照することができます。表示を中止するには CTRL/C を押してください。

オプション 2 を選ぶと、リリース・ノートを印刷するためのキュー名を問い合わせてきます。

\* Queue name [SYS\$PRINT]:

RETERN キーを押して省略時の出力プリント装置にファイルを送るか、もしくは他のキュー名を入力します。オプション 2 が省略時の応答です。

オプション 3 を選ぶと、リリース・ノートをコンソール端末で直接見ることができ、さらに印刷するためのキュー名を聞いてきます。

オプション 4 を選ぶと、リリース・ノートがヘルプ・ディレクトリにコピーされます。このオプション 4 を選ばなくても、日本語 HP FMS のリリース・ノートは SYS\$HELP ディレクトリにコピーされます。

リリース・ノートをすでに見ているならば、オプション 5 を選びます。

### 5. インストールの継続

\* Do you want to continue the installation [N]?: YES  
%VMSINSTAL-I-REMOVED, The product's release notes have been  
successfully moved to SYS\$HELP.

インストールを継続するかどうか聞いてきます。継続する場合は " YES " と入力します。継続しないならば RETURN キーを押してください。いずれの場合もリリース・ノートは SYS\$HELP ディレクトリにコピーされます。

リリース・ノートは次のところに置かれます。

`SYSSHLP:HPFMSJA025.RELEASE_NOTE`

---

**注意**

---

VMSINSTAL によってインストールされたリリース・ノートのファイル名は、現在の製品名およびバージョン番号から構成されます。日本語 HP FMS の前のバージョンのリリース・ノートは削除しないでください。

---

## 6. ライセンスの登録

Product: FMS  
Producer: HP  
Version: 2.5  
Release Date: 12-MAR-2004

\* Does this product have an authorization key registered and loaded?

製品のライセンス情報が表示され、次に日本語 HP FMS の PAK を登録およびロードしたかどうか問い合わせてきます。

PAK の登録もロードもしていない場合には、この問い合わせに対して NO と入力します。インストールを正しく行うためには、PAK を登録し、ロードしておかなければなりません。まだ登録とロードを行っていない場合には、インストールを中止し、PAK の登録とロードを行ってからインストールを再実行してください。

## 7. IVP の実行の選択

\* Do you want to run the IVP after the installation [YES]?

インストールの後に、IVP を実行するかどうか問い合わせてきます。日本語 HP FMS の IVP は、インストールが成功したかどうかをチェックします。IVP を実行することをおすすめします。

## 8. 古いバージョンのファイルの処置

\* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]?

## 日本語 HP FMS のインストール 2.2 インストールの手順

このインストールによって、日本語 HP FMS の古いバージョンのファイルを削除するかどうかの問い合わせがあります。古いバージョンのファイルを削除することをおすすめしますが、古いバージョンのファイルを保存しておく必要がある場合には、この問い合わせに対して NO と入力してください。

### 9. インストール・オプション

\* Do you wish to install Sample Application Programs and Modifiable Message File Procedures [YES]?

インストール・オプションを選択するかどうか問い合わせてきます。ここで YES と入力すると、日本語 HP FMS の変更可能なメッセージ・ファイルおよびアプリケーション例がインストールされます。

アプリケーション・プログラム例は、日本語 HP FMS プログラミング・テクニックの例として日本語 HP FMS ドキュメント内で用いられます。アプリケーション例のファイルは JFMS\$EXAMPLES: ディレクトリにあり、付録 C に一覧があります。日本語 HP FMS のインストールおよびスタートアップ・プロシージャ (SYS\$STARTUP:JFMSTRUP.COM) で、JFMS\$EXAMPLES: ディレクトリのシステム論理名を定義しています。アプリケーション・プログラム例の詳細については付録 A を参照してください。

変更可能なメッセージ・ファイル・プロシージャは、サブ・ディレクトリを作成し、その中に FMS メッセージ・ファイルのソースと FMS フォーム・ドライバおよび FMS ユーティリティ中のメッセージ・テキストの変更方法の説明を格納します。メッセージ・ファイルはサブディレクトリ SYSSYSROOT:[SYSHLP.EXAMPLES.JFMS.MESSAGE] にあり、メッセージ・ファイルを変更する方法は、そのサブディレクトリ中の FMS\_MESSAGE.MEM ファイルにあります。

### 10. 媒体ボリュームの追加

```
%BACKUP-I-READYREAD, mount volume 2 on_DKC100: for reading
```

Enter "YES" when ready:

インストール・キットが 2 巻以上ある場合は、追加のボリュームを挿入するよう指示が表示され、続いてインストールを続ける準備ができているかどうかを問い合わせてきます。

### 2.2.3 情報メッセージ

ここでインストールの進行を報告する多くの情報メッセージが表示されます。この後は問い合わせはありません。インストールが成功すると、変更あるいは新規作成したファイルが目的のディレクトリに移され、必要に応じてヘルプ・ファイルと DCL テーブルが更新されます。古いバージョンのファイルを削除するように指示してあるならば、ここで行われます。そして、次のメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, files will now be moved to their target directories...
```

インストールが成功すると、次のファイルが目的のディレクトリに移されます。

- SYSS\$SYSTEM:JFMSFAA.EXE
- SYSS\$SYSTEM:JFMSFED.EXE
- SYSS\$SYSTEM:JFMSFEDE.EXE
- SYSS\$SYSTEM:JFMSFLG.EXE
- SYSS\$SYSTEM:JFMSFLI.EXE
- SYSS\$SYSTEM:JFMSFTE.EXE
- SYSS\$SYSTEM:JFMSFUU.EXE
- SYSS\$SHARE:JFDVSHR.EXE

さらに、SYSS\$HELP:HELPLIB.HLB および SYSS\$LIBRARY:DCLTABLES.EXE がそれぞれ HP FMS HELP テキストおよび FMS コマンド行定義の新しいバージョンのファイルに更新されます。日本語 HP FMS のリリース・ノートは、SYSS\$HELP:HPFMSJA025.RELEASE\_NOTES ファイルにコピーされます。

インストールによって作成もしくは変更された全ファイルの一覧は付録 C を参照してください。

日本語 HP FMS のインストール  
2.2 インストールの手順

#### 2.2.4 インストール検証プロセスの実行

インストール時に IVP の実行を指定した場合、VMSINSTAL は IVP を実行します。次のメッセージが表示されます。

```
Beginning the FMSJA V2.5 Installation Procedure...
```

日本語 HP FMS が正常にインストールされていると IVP は次のメッセージを表示します。

```
FMSJA V2.5 Installation Verification Procedure was successful  
Refer to the FMSJA Installation Guide for further verification  
procedures..
```

日本語 HP FMS をインストールした後、いつでも単独で IVP を実行することができます。IVP を実行するためには、次のコマンドを使用します。

```
@SYS$COMMON:[SYSTEST.FMS]DEC FMSJ$IVP
```

#### 2.2.5 インストールの終了

次のメッセージが表示されると、すべてのインストールが終了したことを示します。

```
Installation of FMSJA V2.5 completed at 11:03  
VMSINSTAL procedure done at 11:17
```

ここで特権付きアカウントからログアウトします。

```
$ LOGOUT
```

次のメッセージが表示されます。

```
SYSTEM logged out at 31-JAN-1990 11:24:32.40
```

VMSINSTAL は、インストール中にプロセス・シンボル・テーブルのエントリを削除、もしくは変更します。したがって、システム・マネージャのアカウントを使用し、これらのシンボルを復元させたい場合、一度ログアウトしてもう一度ログインし直してください。

---

## 2.3 エラーの回復

インストール実行中もしくは IVP 実行中にエラーが発生すると、VMSINSTAL がエラー・メッセージを表示します。インストールに失敗すると次のメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-E-INSFAIL, The installation of FMSJA V2.5 has failed.
```

IVP に失敗すると次のメッセージが表示されます。

```
The FMSJA V2.5 Installation Verification Procedure failed.
```

```
%VMSINSTAL-E-INSFAIL, The IVP for FMSJA V2.5 has failed.
```

インストール中にエラーが発生するのは、次のいずれかの原因によります。

- オペレーティング・システムのバージョンが適切なバージョンでない。
- インストールを実行するのに必要なクォータが不足している。
- インストールを実行するためのシステム・パラメータ値が充分でない。
- VMS HELP ライブラリが現在使用中である。
- インストールに必要なディスク領域が不足している。
- プロダクト・ライセンスの登録、ロードが行われていない。

これらの状態によって出力されるエラー・メッセージについての説明は、VMS ドキュメントのシステム・メッセージ、復元プロシージャおよび VMS ソフトウェア・インストールの項を参照してください。これらの状態に気づいた場合は、メッセージに従って適切な処理を実行しなければなりません(システム・パラメータを変更するか、もしくは登録されているクォータの値を増やす必要があります)。なお、インストールに必要な条件については、第 1 章を参照してください。

---

## 2.4 問題点の通知

本ソフトウェアについては、日本 HP 所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されますので、その内容にしたがった処置を取ってください。

なお、ご不明な点につきましては、日本 HP の各支店 / 営業所にお問い合わせください。

---

## インストール後の作業

日本語 HP FMS をインストールした後、次の作業を行う必要があります。

- システム・スタートアップ・ファイルの編集
- ユーザ・アカウントのクォータの設定

---

### 3.1 システム・ファイルの編集

システムをリブートしたときに、自動的に、日本語 HP FMS のスタートアップを行うようにするために 2 つのシステム・スタートアップ・ファイルを編集する必要があります。次の手順で、スタートアップ・ファイルを編集します。

- システム・スタートアップ・ファイル `SYSS$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM` に日本語 HP FMS を起動するコマンド行を追加します。ネットワークが起動される前に、日本語 HP FMS を起動することはできません。したがって、この新しいコマンド行はネットワークのスタートアップ・コマンド・プロシージャを起動する行の後に入れなければなりません。次の例は、日本語 HP FMS のスタートアップ・コマンド行がネットワークのスタートアップ・コマンド行の後にあることを示します。

```
$ @SYSS$MANAGER:STARTNET.COM
.
.
.
$ @SYSS$STARTUP:JFMSTRUP.COM
```

- FMS スタートアップ・コマンド・プロシージャは、いくつかの VMS コマンドを含んでいます。最初のコマンドは、日本語 HP FMS バージョン 2.5 のアプリケーション・プログラム例があるディレクトリを論理名 `JFMS$EXAMPLES` に割り当てます。

## インストール後の作業

### 3.1 システム・ファイルの編集

コマンド・プロシージャの最後のコマンドは、JFDVSHR、JFDVMSG と JFDVMSGGE を共用可能イメージとしてインストールします。FMS アプリケーション・プログラムの性能をさらに改善するためには、JFMSTRTUP.COM から次の行を取り除きます。

```
$ EXIT ! Remove this line to install the images
```

JFMSTRTUP.COM ファイルに変更を加えたら、SHUTDOWN プロシージャで現在のシステムを停止し、システムをリブートしてください。

---

## 3.2 ユーザ・アカウントの条件

日本語 HP FMS を使用するためには、ユーザ・アカウントに少なくとも TMPMBX 特権がなければなりません。また、ユーザ・アカウントには、表 3-1 に示すクォータがなければなりません。

表 3-1 日本語 HP FMS の使用に必要なユーザ・アカウントのクォータ

クォータ名	値
ASTLM	24
BIOLM	18
DIOLM	18
ENQLM	30
FILLM	20

ユーザ・アカウントの特権とクォータは、ファイル SYSUAF.DAT に保存されています。ユーザ・アカウントのクォータを確認および変更するには、次の手順で VMS AUTHORIZE ユーティリティを使用します。

1. まず最初にディレクトリを SYSS\$SYSTEM に設定し、次に AUTHORIZE を実行します。

```
$ SET DEFAULT SYSS$SYSTEM
$ RUN AUTHORIZE
UAF>
```

### 3-2 インストール後の作業

2. AUTHORIZE ユーティリティのプロンプト (UAF>) に対して、SHOW コマンドにアカウント名を指定して特定のアカウントを調べます。

```
UAF> SHOW SMITH
```

3. 特権とクォータを変更するには、UAF>プロンプトに対して MODIFY コマンドを使用します。MODIFY は次の形式で指定します。

```
MODIFY アカウント名 /クォータ名 = nnnn/privilege = 特権名
```

次の例では SMITH アカウントの ENQLM クォータを変更し、そしてユーティリティを終了します。

```
UAF> MODIFY SMITH /ENQLM=50  
UAF> EXIT
```

4. ユーティリティを終了すると、変更が行われたかどうかを示すメッセージが表示されます。新しいクォータを使用するためには設定を変更した後、一度ログアウトし再びログインし直さなければなりません。

アカウントのクォータの変更方法についての詳細は、VMS ドキュメント・セットの中の AUTHORIZE ユーティリティの説明を参照してください。

---

### 3.3 IVP の実行

日本語 HP FMS をインストールした後、IVP は自動的に SYSS\$COMMON:[SYSTEST.FMS]DECFMSJ\$IVP.COM に置かれます。インストール時に IVP の実行を選択しなくても IVP はそこに置かれます。

日本語 HP FMS のインストール後は、いつでも次のコマンドで IVP を実行することができます。

```
@SYS$COMMON:[SYSTEST.FMS]DECFMSJ$IVP
```

---

## 3.4 特別な条件

データの損失を防ぐために、日本語 HP FMS を使用する前に端末を HOSTSYNC と TYPHEAD に設定する必要があります。詳細についてはオンライン・リリース・ノートを参照してください。

---

## 3.5 日本語 HP FMS の性能のチューニング

本節では、システム・チューニングの情報と日本語 HP FMS を共用イメージとしてインストールする方法について説明します。

日本語 HP FMS バージョン 2.5 のフォーム・ドライバは、共用イメージとして構築されます。HP FMS アプリケーションを複数のユーザが同時に実行した場合、各ユーザはメモリ上にフォーム・ドライバのコピーをもちます。フォーム・ドライバを共用可能なイメージとしてインストールすれば、複数の HP FMS アプリケーションを実行したときに、ユーザはメモリ上の 1 つのフォーム・ドライバのコピーを共有します。

共用可能イメージにすれば必要なメモリを減らし、システムの性能を改善することができます。

現在実行しているシステムに日本語 HP FMS を共用可能イメージとしてインストールするには、VMS インストール・ユーティリティ (INSTALL) を使用してください。グローバル・ページ・テーブルの使用可能な領域が分裂することはほとんどないので、ブートされているシステム上でインストール操作を実行することをおすすめします。

次の手順で、日本語 HP FMS を共用イメージとしてインストールします。

1. 最初にシステムの使用可能なグローバル・ページおよびグローバル・セクションの数を調べてください。グローバル・ページとグローバル・セクションの数の確認および変更方法は、第 1.5.5.2 項を参照してください。表 1-2 にこれらのパラメータが必要とする値を示します。

2. システム・パラメータの値を再設定した後、特権付きアカウントでVMS インストール・ユーティリティを起動し、日本語 HP FMS を共用イメージとしてインストールしてください。

```
$ INSTALL
INSTALL> ADD SYS$SHARE:JFDVSHR.EXE /OPEN /SHARED
INSTALL> ADD SYS$MESSAGE:JFDVMSG.EXE /OPEN /SHARED
INSTALL> ADD SYS$MESSAGE:JFDVMSGE.EXE /OPEN /SHARED
INSTALL> EXIT
```

3. 次の行を適切なシステムのスタートアップ・コマンド・ファイルに追加しなければなりません。そうすればシステムを起動するたびに、日本語 HP FMS が共用イメージとして使用可能となります (スタートアップ・プロシージャがモジュール化されているならば、必ずその行を正しいファイルに追加してください。VMS バージョン 5.0 の省略時のスタートアップ・コマンド・ファイルは SYS\$MANAGER:SYSTARTUP\_VMS.COM です)。

```
$ INSTALL
INSTALL> ADD SYS$SHARE:JFDVSHR.EXE /OPEN /SHARED
INSTALL> ADD SYS$MESSAGE:JFDVMSG.EXE /OPEN /SHARED
INSTALL> ADD SYS$MESSAGE:JFDVMSGE.EXE /OPEN /SHARED
INSTALL> EXIT
```

4. 日本語 HP FMS を共用イメージとしてインストールする場合、グローバル・ページ (GBLPAGES) を 250 ページ、グローバル・セクション (GBLSECTIONS) を 4 セクション増やしてください。パラメータを変更する方法については、第 1.5.5 項を参照してください。



---

## フォーム・エディタおよびフォーム・テストの確認

会話型であるという性質上、フォーム・エディタおよびフォーム・テストは VT100 もしくは VT200 と互換性のある端末上で手作業でテストされなければなりません。次に示す手順でフォーム・エディタおよびフォーム・テストのインストールを確認します。

1. VT100 もしくは VT200 と互換性のある端末を使用してログインします。

2. フォーム・エディタをテストするためのフォームを作成します。

フォームを作成するため、現在のディレクトリに存在しないファイル名を指定します (この例では testfile.frm というファイルを指定します)。省略時のファイル・タイプは.FRM です。

```
$ JFMS/EDIT testfile.frm
```

3. 端末からの応答を要求するように、次のコマンドを入力します。

```
$ SET TERMINAL/INQUIRE
```

4. フォーム・エディタ・メニューのオプションを選択します。

フォーム・エディタの入力が終わった後、Phase Choice プロンプトに対して LAYOUT を選択します。画面が消去され、レイアウト・フェーズのステータス行が画面の下端に現われます。

```
Phase Choice: LAYOUT
```

5. フォームに次のようなテキストを入力します。

```
This is a test of FMS.
```

## フォーム・エディタおよびフォーム・テストの確認

フィールド・モードに入る場合は、PF1 キーを押してからキーパッドの 8 キーを押します。フィールドを示すために文字 x を 6 回入力します。

```
<PF1><KP8>  
XXXXXX
```

### 6. フォーム・エディタを終了します。

フォーム・エディタのレイアウト・フェーズを終了するには、PF1 キーを押してからキーパッドの 7 キーを押します。フォーム・エディタのメニューが再び表示されます。プロンプトに対して EXIT と入力し RETURN キーを押します。

```
<PF1><KP7>  
Phase Choice: EXIT
```

### 7. フォームを保存します。

レイアウト・フェーズを終了した後、エディタがプロンプトを出してファイルの保存を要求します。フォームを保存するため RETURN キーを押します。

```
$ Do you want to save this form?  
%FMS-I-FORMSAVED, Form testfile.frm saved in testfile.frm
```

### 8. フォームをテストします。

```
$ JFMS/TEST testfile.frm
```

フォームが表示されます。文字を 7 文字入力します。7 番目の文字が画面に表示されないことに注目してください。端末のベルが鳴り、フィールドがいっぱいであることを知らせるエラー・メッセージが端末の画面の下端に表示されます。RETURN キーを押します。システム・プロンプトが現われます。

```
123456  
<RETURN>  
$
```

### 9. フォームのファイルを削除します。

```
$ DELETE testfile.frm;*
```

テストは完了です。テスト中に何かエラーが発生した場合は、第 2.3 節の指示に従ってください。



---

## インストール例

この付録では、日本語 HP FMS のインストール例を示します。この例は、日本語 HP FMS の前のバージョンがインストールされていないシステムで実行したものです。

インストール例では、DECnet がシャットダウンされ、システムにログインしているユーザがないと仮定しています。また、IVP がインストールの終わりに実行されます。

---

### A.1 フル開発キット

ここでは、日本語 HP FMS のフル開発キットのインストール例を示します。

```
$ @sys$update:vminstal FMSJA025 DKC100:[FMSJA025.KIT]
```

```
OpenVMS Software Product Installation Procedure V8.2-1
```

```
It is 8-NOV-2005 at 10:57.
```

```
Enter a question mark (?) at any time for help.
```

```
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?
```

```
The following products will be processed:
```

```
FMSJA V2.5
```

```
Beginning installation of FMSJA V2.5 at 10:57
```

```
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
```

```
%VMSINSTAL-I-REMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.
```

インストール実行例  
A.1 フル開発キット

Product: FMS  
Producer: HP  
Version: 2.5  
Release Date: 12-MAR-2004

- \* Does this product have an authorization key registered and loaded? y
- \* Do you want to run the IVP after the installation [YES]? y
- \* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? y

If you wish to save space on your system disk you may choose not to install the Sample Application Programs and the Modifiable Message File Procedures. You may later install them by installing FMSJA V2.5 again.

- \* Do you wish to install Sample Application Programs and Modifiable Message File Procedures [YES]? y
- %FMSJA-I-CONTINUE, All inquiries have been requested. If no errors occur,  
-FMSJA-I-CONTINUE, the installation will be completed in about 20 minutes.  
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set B ...  
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set C ...  
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set D ...

System Manager:

Upon completion of this installation, please be sure to edit the system startup files as described in the DEC JFMS Installation Guide.

%FMSJA-S-FMSBUILT, FMSJA V2.5 has built successfully, continuing...  
%FMSJA-I-STARTSAMP, Starting the Sample Application Programs installation...  
%FMSJA-S-SAMPBUILT, Sample Application Programs have built successfully, continuing...  
%FMSJA-I-CONTINUE, Starting Modifiable Message File Procedures installation ...  
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...  
%DCL-I-SUPERSEDE, previous value of JFMS\$EXAMPLES has been superseded

Beginning the FMSJA V2.5 Installation Verification Procedure...

FMSJA V2.5 Installation Verification Procedure was successful  
Refer to the DEC FMS/Japanese Installation Guide for further verification procedures...

Installation of FMSJA V2.5 completed at 10:59

Adding history entry in VMI\$ROOT:[SYSUPD]VMSINSTAL.HISTORY

Creating installation data file: VMI\$ROOT:[SYSUPD]FMSJA025.VMI\_DATA

VMSINSTAL procedure done at 10:59

---

## A.2 ランタイム・キット

ここでは、日本語 HP FMS のランタイム・キットのインストール例を示します。

```
$ @sys$update:vmsinstal FDVJA025 DKC100:[FDVJA025.KIT]
```

```
OpenVMS Software Product Installation Procedure V8.2-1
```

```
It is 8-NOV-2005 at 11:07.
```

```
Enter a question mark (?) at any time for help.
```

```
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?
```

```
The following products will be processed:
```

```
FDVJA V2.5
```

```
Beginning installation of FDVJA V2.5 at 11:07
```

```
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
```

```
Product:      FMS-RT  
Producer:     HP  
Version:      2.5  
Release Date: 12-MAR-2004
```

```
* Does this product have an authorization key registered and loaded? y
```

```
* Do you want to run the IVP after the installation [YES]? y
```

```
* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? y
```

```
System Manager:
```

```
Upon completion of this installation, please be  
sure to edit the system startup files as  
described in the DEC JFMS Run-Time Kit  
Documentation.
```

```
%FDVJA-S-FDVBUILT, FDVJA V2.5 has built successfully, continuing...
```

```
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
```

```
Beginning the FDVJA V2.5 Installation Verification Procedure...
```

インストール実行例  
A.2 ランタイム・キット

```
:  
:  
FDVJA V2.5 Installation Verification Procedure was successful  
Refer to the DEC FMS/Japanese Installation Guide for further verification  
procedures...  
    Installation of FDVJA V2.5 completed at 11:08  
Adding history entry in VMI$ROOT:[SYSUPD]VMSINSTAL.HISTORY  
Creating installation data file: VMI$ROOT:[SYSUPD]FDVJA025.VMI_DATA  
    VMSINSTAL procedure done at 11:08
```

# B

## アプリケーション・プログラム例の使用法

日本語 HP FMS バージョン 2.5 のインストールおよびスタートアップ・プロセスは SYS\$STARTUP:JFMSTRUP.COM で、JFMS\$EXAMPLES: ディレクトリをシステム論理名として定義します。このディレクトリには、日本語 HP FMS バージョン 2.5 のアプリケーション・プログラム例に関連するファイルが置かれています。

2 進データ同期端末でアプリケーション・プログラム例を実行する場合は、第 B.2 節を参照してください。

日本語 HP FMS バージョン 2.5 では、表 B-1 に示すアプリケーション・プログラム例を提供します。

表 B-1 FMS アプリケーション・プログラム例

言語	プログラム名	イメージ名
BASIC	SAMP.BAS	SAMP.EXE
BLISS	SAMPBLI.BLI	SAMPBLI.EXE
C	SAMPCC.C	SAMPCC.EXE
COBOL	SAMPCOB.COB	SAMPCOB.EXE
FORTRAN	SAMPFOR.FOR	SAMPFOR.EXE
PASCAL	SAMPPAS.PAS	SAMPPAS.EXE

BASIC のアプリケーション・プログラム例を実行する場合は、次のようなコマンドを入力します。

```
$ RUN JFMS$EXAMPLES:SAMP
```

アプリケーション・プログラム例の実行中に、PF4 キーを押してチェックの書き込みを選択した場合、チェックを書き込むデータ・ファイル SAMPCH.DAT が省略時のディレクトリに作成されます。

---

## B.1 アプリケーション・プログラム例に関連するファイル

アプリケーション・プログラム例の作成を支援するファイルが、JFMS\$EXAMPLES: ディレクトリに入っています。これらのファイルは次のとおりです。

- SAMP フォームに関連するファイル

アプリケーション・プログラム例のフォームは、フォーム・ライブラリ SAMP.FLB に保存されます。2 進データ同期端末またはワークステーションのどちらか一方でアプリケーション例を正常に実行するために 2 つの追加フォームが提供されています。このフォームはファイル BISYNC\_REGIST.FRM と LONG\_REGIST.FRM に含まれており、アプリケーション例のフォーム・ライブラリ SAMP.FLB 中の REGISTER フォームの代わりになるように設計されています。BISYNC\_REGIST.FRM ファイルを使えば、2 進データ同期端末上でアプリケーションを正常に実行することができます。LONG\_REGIST.FRM を使えば、ワークステーション上で 55 行のフォームの作成、表示ができます。

- FMS アプリケーション援助によって作られるファイル

メモリ常駐のフォーム・ファイル SMPMEMRES.OBJ、および UAR ベクトル・ファイル SMPVECTOR.OBJ は、実行可能な SAMP イメージを作るためにリンク・コマンドに含まれています。

- SAMP データベース・ファイル

SAMP.DAT ファイルは、アプリケーション・プログラム例にアカウント・データを供給します。

- FMS 定義を含むソース・ファイル (表 B-2 参照)

FMS 定義ファイルでは、アプリケーション・プログラム例で使用するフォーム・ドライバのシンボルを定義します。これらの多数のファイルは、プログラムでシンボルを定義するために適切な言語構成要素 (INCLUDE, COPY, REQUIRE, ENVIRONMENT など) によって直接使用されます。自分のアプ

リケーションに合うように調整する際の例文としてこれらのファイルを使用してください。

- 言語用の追加ソース・ファイル (表 B-3 参照)  
アプリケーション・プログラム例のうちのいくつかは、特定の言語にだけ関連する便利な定義を含むソース・ファイルがあります。
- アプリケーション・プログラム例を指定した言語にコンパイルし、リンクするコマンド・ファイル (表 B-4 参照)

表 B-2 FMS 定義ファイル

言語	定義ファイル
BASIC	FDVDEF.BAS
BLISS	FDVDEF.REQ
C	FDVDEF.H
COBOL	FDVDEF.LIB
FORTRAN	FDVDEF.FOR
PASCAL	FDVDEF.PAS

表 B-3 FMS ソース・ファイル

言語	ファイル名
COBOL	SAMPCOB.LIB SMPCOBUAR.LIB
FORTRAN	SMPACCOM.FOR SMPREGCOM.FOR SMPSTATUS.FOR SMPWORK.FOR

アプリケーション・プログラム例の使用方法  
B.1 アプリケーション・プログラム例に関連するファイル

表 B-4 FMS コマンド・ファイル

言語	コマンド・ファイル
BASIC	SAMPBAS.COM
BLISS	SAMPBLI.COM
C	SAMPCC.COM
COBOL	SAMPJOB.COM
FORTRAN	SAMPFOR.COM
PASCAL	SAMPBAS.COM

## B.2 2進データ同期端末上でのアプリケーション例の実行

2進データ同期端末上でアプリケーション・プログラム例を実行しない場合は、本節をお読みになる必要はありませんので次へすすんでください。

アプリケーション・プログラム例は、プログラムを変更せずに2進データ同期端末上で実行することができます。ただし、2進データ同期端末の幅に制約があるため、フォームは変更が必要です。非同期端末 (VT52, VT100, VT2xx など) 上にチェック・レジスタを表示するために使用するフォーム REGISTER は、2進データ同期端末の画面には適しません。

日本語 HP FMS バージョン 2.5 のキットには、2進データ同期端末の画面に適する REGISTER の置換用フォームがあります。このフォームは、非同期端末でも同様に動作します。フォームは、JFMS\$EXAMPLES: の BISYNC\_REGIST.FRM というフォーム・ファイルに含まれています。

2進データ同期端末でアプリケーション・プログラム例を実行する前に、次の手順に従ってアプリケーション例のフォーム・ライブラリ SAMP.FLB: 中の REGISTER フォームを置き換えてください。

1. システム・マネージャのアカウントへログインします。

2. JFMS\$EXAMPLES:REGISTER.FRM というフォーム・ファイルに現在の REGISTER フォームを保存するために、次のコマンドを入力します。

```
$ JFMS/LIBRARY/EXTRACT-  
_ $ JFMS$EXAMPLES:SAMP/FORM=REGISTER/OUTPUT=JFMS$EXAMPLES:REGISTER.FRM
```

3. 新しい REGISTER フォームを挿入するために次のコマンドを入力します。

```
$ JFMS/LIBRARY/REPLACE JFMS$EXAMPLES:SAMP JFMS$EXAMPLES:BISYNC_REGIST
```

このコマンドを正常に実行すれば、アプリケーション・プログラム例を非同期もしくは 2 進データ同期端末で実行できます。

REGISTER フォームは、『Introduction to VAX-11 FMS』に説明されているオリジナルの REGISTER フォームとは異なる表示のされ方および異なるフィールド属性となります。フォームを 2 進データ同期端末の画面に適合させるには、これらの相違が必要となります。これらの相違は、プログラムのフォームの機能もしくは相互作用にはなんら影響はありません。

---

### B.3 ワークステーション上でのアプリケーション例の実行

ワークステーション上でアプリケーション・プログラム例を実行しない場合は、本節をお読みになる必要はありませんので次へすすんでください。

アプリケーション・プログラム例は、プログラムを変更せずにワークステーション上で実行することができます。しかし、ワークステーション上で VT100 および VT200 ウィンドウの拡大サイズを利用するためには、アプリケーション例中のフォームの 1 つを変更する必要がありました。チェック・レジスタを表示するためのスクロール領域を含む REGISTER フォームは、55 行ウィンドウを利用するために変更されました。日本語 HP FMS バージョン 2.5 のキットでは、JFMS\$EXAMPLES: 内の LONG\_REGIST.FRM というファイルでこのフォームを提供します。

ワークステーションの 55 行ウィンドウを利用するためには、次の手順に従ってアプリケーション例のフォーム・ライブラリ SAMP.FLB 中の REGISTER フォームを置き換えてください。

アプリケーション・プログラム例の使用方法  
B.3 ワークステーション上でのアプリケーション例の実行

1. システム・マネージャのアカウントでログインします。
2. JFMS\$EXAMPLES:REGISTER.FRM というフォーム・ファイルに現在の REGISTER フォームを保存するために、次の FMS DCL コマンドを入力します。

```
$ JFMS/LIBRARY/EXTRACT-  
_ $ JFMS$EXAMPLES:SAMP/FORM=REGISTER/OUTPUT=JFMS$EXAMPLES:REGISTER.FRM
```

3. 新しい REGISTER フォームを挿入するために次のコマンドを入力します。

```
$ JFMS/LIBRARY/REPLACE JFMS$EXAMPLES:SAMP JFMS$EXAMPLES:LONG_REGIST
```

4. ワークステーションのウィンドウ・サイズを 55 行に設定するために、次のコマンドを入力します。

```
$ SET TERMINAL/PAGE=55
```

このコマンドを正常に実行すれば、説明通りにアプリケーション・プログラム例をワークステーションで実行できます。

標準の端末 (VT52, VT100, VT2xx など) 上でフォーム・ライブラリ SAMP.FLB のフォーム LONG\_REGIST を使ってアプリケーション例を実行することはできません。

# C

## システムにインストールされるファイルの一覧

以下に日本語 HP FMS バージョン 2.5 のインストールで追加もしくは変更されるファイルの一覧を示します。

[ディレクトリ名] ファイル名	機能
[SYSHLP] ( SYS\$HELP )	
HELPLIB.HLB	FMS でヘルプ・ライブラリに追加 / 交換されたモジュール
HPFMSJA025.RELEASE_NOTES	バージョン 2.5 のリリース・ノート
[SYSEXEC] ( SYS\$SYSTEM )	
JFMSFAA.EXE	FMS フォーム・アプリケーション支援ユーティリティ
JFMSFED.EXE	FMS フォーム・エディタ・ユーティリティ
JFMSFEDE.EXE	FMS フォーム・エディタ・ユーティリティ (英語版)
JFMSFLG.EXE	FMS フォーム言語翻訳ユーティリティ
JFMSFLI.EXE	FMS フォーム・ライブラリアン・ユーティリティ
JFMSFTE.EXE	FMS フォーム・テスタ・ユーティリティ
JFMSFUU.EXE	FMS フォーム更新ユーティリティ
[SYSLIB] ( SYS\$SHARE )	
JFDVSHR.EXE	フォーム・ドライバ共有可能イメージ

システムにインストールされるファイルの一覧

[ディレクトリ名] ファイル名	機能
[SYSLIB] ( SYS\$LIBRARY )	
DCLTABLES.EXE	FMS で DCL テーブルに追加 / 交換された DCL コマンド
IMAGELIB.OLB	JFDVSHR でライブラリに追加 / 交換されたモジュール
STARLET.OLB	FDV\$PLITRM でライブラリに追加 / 交換されたモジュール
[SYS\$STARTUP] ( SYS\$STARTUP )	
JFMSTRTUP.COM	FMS のスタートアップ・プロシージャ
[SYSMGR] ( SYS\$MESSAGE )	
JFDVMSG.EXE	フォーム・ドライバのメッセージ・ファイル
JFDVMSG.E.EXE	フォーム・ドライバのメッセージ・ファイル (英語版)
JFMSMSG.EXE	FMS ユーティリティのメッセージ・ファイル
JFMSMSG.E.EXE	FMS ユーティリティのメッセージ・ファイル (英語版)

システムにインストールされるファイルの一覧

[ディレクトリ名] ファイル名	機能
[SYSHLP.EXAMPLES.JFMS] ( JFMS\$EXAMPLES )	
FDVDEF.BAS	BASIC 用フォーム・ドライバのシンボル定義ファイル
FDVDEF.FOR	FORTRAN 用フォーム・ドライバのシンボル定義ファイル
FDVDEF.H	C 用フォーム・ドライバのシンボル定義ファイル
FDVDEF.LIB	COBOL 用フォーム・ドライバのシンボル定義ファイル
FDVDEF.PAS	PASCAL 用フォーム・ドライバのシンボル定義ファイル
FDVDEF.REQ	BLISS 用フォーム・ドライバのシンボル定義ファイル
FDVDEF.CAL.PLI	PL/I 用フォーム・ドライバのシンボル定義ファイル
FDVDEFFNC.PLI	PL/I 用フォーム・ドライバのシンボル定義ファイル
MESSAGE.DIR	変更可能なメッセージ・プロシージャ用ディレクトリ

さらにシステム・マネージャがアプリケーション・プログラム例のインストールを要求した場合、次のファイルも存在します。

[ディレクトリ名] ファイル名	機能
[SYSHLP.EXAMPLES.JFMS] ( JFMS\$EXAMPLES )	
BISYNCREGIST.FRM	2 進データ同期端末用のアプリケーション例の REGISTER フォーム
LONGREGIST.FRM	ワークステーション用のアプリケーション例の REGISTER フォーム
SAMP.BAS	BASIC 用アプリケーション例のソース
SAMP.DAT	アプリケーション例のデータ・ファイル
SAMP.EXE	BASIC 用アプリケーション例の実行可能イメージ†
SAMP.FLB	アプリケーション例のフォーム・ライブラリ

†システム上でその言語が利用可能である場合のみ存在します。

システムにインストールされるファイルの一覧

[ディレクトリ名] ファイル名	機能
[SYSHLP.EXAMPLES.JFMS] ( JFMS\$EXAMPLES )	
SAMPBAS.COM	BASIC 用アプリケーション例を構築するプロシージャ
SAMPBLI.BLI	BLISS 用アプリケーション例のソース
SAMPBLI.COM	BLISS 用アプリケーション例を構築するプロシージャ
SAMPBLI.EXE	BLISS 用アプリケーション例の実行可能イメージ†
SAMPCC.C	C 用アプリケーション例のソース
SAMPCC.COM	C 用アプリケーション例を構築するプロシージャ
SAMPCC.EXE	C 用アプリケーション例の実行可能イメージ†
SAMPJOB.COB	COBOL 用アプリケーション例のソース
SAMPJOB.COM	COBOL 用アプリケーション例を構築するプロシージャ
SAMPJOB.EXE	COBOL 用アプリケーション例の実行可能イメージ†
SAMPJOB.LIB	COBOL 用アプリケーション例のライブラリ
SAMPFOR.COM	FORTRAN 用アプリケーション例を構築するプロシージャ
SAMPFOR.FOR	FORTRAN 用アプリケーション例のソース
SAMPFOR.EXE	FORTRAN 用アプリケーション例の実行可能イメージ†
SAMPBAS.COM	PASCAL 用アプリケーション例を構築するプロシージャ
SAMPBAS.EXE	PASCAL 用アプリケーション例の実行可能イメージ†
SAMPBAS.PAS	PASCAL 用アプリケーション例のソース
SMPACCOM.FOR	FORTRAN 用アプリケーション例のインクルード・ファイル
SMPJOB.LIB	COBOL 用アプリケーション例のライブラリ
SMPMEMRES.OBJ	アプリケーション例のメモリ常駐フォーム・モジュール
SMPREGCOM.FOR	FORTRAN 用アプリケーション例のインクルード・ファイル
SMPSTATUS.FOR	FORTRAN 用アプリケーション例のインクルード・ファイル
SMPVECTOR.OBJ	アプリケーション例の UAR ベクタ・モジュール
SMPWORK.FOR	FORTRAN 用アプリケーション例のインクルード・ファイル

†システム上でその言語が利用可能である場合のみ存在します。

システムにインストールされるファイルの一覧

[ディレクトリ名] ファイル名	機能
[SYSHLP.EXAMPLES.FMS.MESSAGE]	
COMMSG.MSG	FMS ユーティリティすべてに共通のメッセージ・ファイル
FAAMSG.MSG	フォーム・アプリケーション支援のメッセージ・ファイル
FCVMSG.MSG	フォーム・コンバータのメッセージ・ファイル
FDVMSG.MSG	フォーム・ドライバのメッセージ・ファイル
FEDMSG.MSG	フォーム・エディタのメッセージ・ファイル
FIOMSG.MSG	ファイル I/O のメッセージ・ファイル
FLGMSG.MSG	フォーム言語翻訳のメッセージ・ファイル
FLIMSG.MSG	フォーム・ライブラリアンのメッセージ・ファイル
FMSLIT.MSG	FMS メッセージ・ファイル・リテラル
FMS_ MESSAGE.MEM	FMS メッセージ・ファイルの変更方法
FTEMSG.MSG	フォーム・テストのメッセージ・ファイル
FUUMSG.MSG	フォーム更新ユーティリティのメッセージ・ファイル
MSGBLD.COM	メッセージ・ファイルを構築するプロシージャ



日本語 HP FMS for OpenVMS インストール・ガイド

---

2006年3月 発行

日本ヒューレット・パッカート株式会社

〒140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

電話 (03)5463-6600 (大代表)

---

